



一九七三年の新年に当って

会長 三 神 美 和

会員の皆様!! 新年おめでとうございませう。

お元氣によい年を迎えられたことと心からおよろこび申し上げます。日本女医学会も新しい年を迎えます。皆様に今年も本会の発展のために頑張りたいと存じます。何卒昨年同様ことしもおよろこしくお願い申し上げます。

昨年は第十三回国際女医学会へ九九名という前代未聞の多数の参加者が参加いたし一人の落伍者もなく大きな責任を立派に果たしました。国際女医学会においては小野先生が会長に決定、次々総会への招致など日本女医学会への関心を深めて参りました。このことは長い間の注意深い準備と会員のご協力によってもたらされたものと思えます。この一致協力こそ本会の精神であり、柱であると存じます。日本において惟おす一九七六年の国際女医学会総会もこの精神を大いに發揮して立派に成功させた

復刊第53号

さて本年は本会の役員改選の年でありませう。

従来は選挙の方法と少し変わったところがありますので十分ご注意して下さい。その方法は本号に掲載されておりますのでよくお読み下さい。そして、総会には挙げてご出席ご投票下さいませうようお願いいたします。

選挙法が改正された主旨は、選出法をより民主的に行なうということでありませう。学閥を越えた選挙を行いたいということでありませう。

日本女医学会再発足して今年は一〇〇年を迎えることになりませう。この二〇年間の本会の発展はまことに目を見張る程のものがありますが、これはひとに学閥をこえた皆様の一致ご協力の賜物でありませう。しかし初期にはやむを得ず三大学卒業生を中心としてすすんでいた会であり、それにもとづく役員選挙でありませうが、現時点に於ては次第にこの考えから脱皮して来たと思えます。全日本の女医を、派閥学閥もない日本の女医全体を網羅し、その中から選ばれた役員ということが最も望ましいことでありませうので、その方向に近づけたのが今度の選挙の改正点であると思えます。大所高所に立つて最も適当な方を選んで頂きたいと思えます。

一九七四年はブラジルで国際女医学会総会が開かれます。今年はそのに出題する演題を決定しなければならぬと思えます。「環境が人体に及ぼす影響」という意味のテーマだと存じます。このテーマに対しわが国はあまりに材料

告 示

日本女医学会定款第二十四条に基づき、来る五月十三日(日)帝國ホテルに於いて昭和四十八年度定時総会を開催いたしますが、同時に第十五条の規定により現理事任期満了に伴う役員改選を行います。なお、立候補の届出は、定款施行細則第十八条により昭和四十八年三月十四日迄に本部に必着するようになして下さい。

届出書類
一、自選のときは立候補届及履歴書各々一通
一、他選のときは前記書類の外に推薦者二名の署名・捺印による推薦状一通

〔追記〕立候補に関する届出及履歴書用紙は一式本部にありますので規定用紙をご使用下さい。
第一条 定款第十四条に規定する理事は三十一・三十五名とし、うち常任理事は十名とする。
第七条 選挙人は選挙の九十日前までの正会員とし、被選挙人は入会後三年を経た正会員とする。
第十三条 理事選挙は十五名連記とする。
第十八条 立候補者は、選挙の告示のあった日から選挙の六十日前までに立候補届を文書で理事會に届出なければならぬ。
理事會に出席可能な方をご推薦下さい。

があり過ぎるようです。我と思わん方はどしどし申し出下さい。適当に選出し、日本代表として恥かしくない演題を出したいと思えます。
最後に、本会の事業として取上げていく性教育のことについて思いませう。

第十三回国際女医学会議

講演要旨の抜萃(2)

藤 井 傳 子

IV 先天性TP症
日本を含め、各国代表者が、それぞれ経験した臨床例、あるいは所属する

病院や特殊な地域での統計的觀察の結果を報告した。それらをまとめ、主な点をここに記す。

妊婦のTp感染

Tp感染を有する妊婦は臨床上感染を考へさせるような症状を殆んど示さない。たとえ、胎児がすでに神経系、特に眼に相当な変化をきたしている時でも、妊婦は病氣という感じをもたない。母体へのTp感染は、主として、(1)生肉か、よく火の通っていない肉を食べる、(2)ネコの腸管粘膜炎で分裂、繁殖したooeggsが糞便とともに排泄され、それにより直接汚染された食物を摂取、またはハエが媒介して汚染をおこしたものの摂取によると考えられる。糞便とともにネコの体外に出されたooeggsは、どうやら数カ月あるいは数年も生存可能であるらしい。少くもネコの2/3はTpをもっているとき報告されている。

妊娠中の感染時期と胎児感染との関係

(1)妊娠初期三カ月間の感染ではTpが胎児へ侵入することはまずないと考えられる。むしろ流産することが多い。また、この時期の感染であれば風疹感染の場合のように人工妊娠中絶も行ないうるであろうがTp感染胎児の場合は妊娠後期におこることが問題点である。

くり返し流産をする女性の二一%は月経血中にTp(+)である(Fornet, rod, Sierre)。Tp症の腫・子宮検査の結果、腔粘膜にはpseudocystを、子宮内膜や筋層にはcystかpseudocystをみとめる。月経血中にもcystが出現する。

(2)妊娠末期の母体が感染したとき、

胎児Tp症の危険性がある。Tpは胎盤から直接胎児血中に侵入し、いろいろな組織にばらまかれる。Tpは速やかに細胞壁をやぶり、細胞内に侵入して増殖し、やがて細胞を破壊する。細胞から遊離したTpは再び細胞内侵入をくり返す。比較的Tpに抵抗のあるのは赤血球のみである。再生不能な神経細胞や眼の組織を好んで犯す。

近頃の米国における報告では、妊娠末期の三カ月間にTp感染のあった例の半数の人の児は明らか、あるいは不顕性Tp感染を有した。一〇〇〇例に1例は先天性Tp症をもつてうまれるとも報告されている。不顕性感染の児の場合、先天性Tp症の末期の臨床像が出現して、はじめてTp症と診断されることも多い。

Connell Medical Center(New York)の調査では子宮内感染をうけた胎児の1/3のみが新生児期に病像を呈したと。しかしTpの時限爆弾の意義の重要性を示すものとして、二〇年余も潜伏状態のまま、突然何の前ぶれもなく失明、精神障害がくる例もあるのである。

Tp感染新生児の示す主な症状
Tp感染の主な症状は中枢神経系と眼にあらわれる。Tp感染が確認された一五二例中網脈絡膜炎、脳の石灰化、水頭の三主症状を示したものは六八%、網脈絡膜炎のみ八六%、脳脊髄液のキサントクローム、蛋白量増加のあるもの六三%、その他、貧血、けいれん発作、水頭症あるいは小頭症、なかには肝腫、脾腫、リンパ腺腫脹を伴なう黄

だんと発熱など(以上はEichenwaldの統計を米国のWilhelmが報告)。同じくWilhelmが引用したHodesの報告によると、Tp感染新生児の予後は一二%が死亡、生存者の八五%は高度の精神障害、八〇%はけいれん発作を有し、六五%はけいれん性体質、五〇%が重症視力障害、二〇%水頭症か小頭症、四才まで生存しえたものうち、わずかに一〇%のみが正常であった。

遅発症状として心筋炎もあり、一〇才で突然心筋障害のため死亡した例も報告された。
妊娠中のTp感染を疑うべき点
(1)Solim-Feldmanテストが(+)から(+)になったら、(2)抗体価1:512以上の時、(3)少しづつでも抗体が上昇していく時。
補体結合反応はTp感染後約二八日では通常(+)となる。一度感染すると低値ではあるがthe testでは一生(+)であるのと対照的である。The testで1:600以上の時は胎児も感染していると考えられる。

新生児のTp感染診断
臍帯血中あるいは新生児血中IgMが20 mg %まで増加している時は先天性Tp感染を示す。一〇%の新生児は通常、胎内での風疹、梅毒、巨大細胞性ウィールスかTp感染などによるIgMの増加を示す。母親の既往歴や新生児の病像から子宮内Tp感染が疑われる時は、ただちに特異な試験により診断を確定せねばならない。新生

児黄疽、特に血液型不適合による黄疽よりも徐々に強まる黄疽のある時は免疫反応をみる。
第十八回定時総会
開催のおしらせ
開催日時 昭和四十八年五月十三日(日)午前十時より
開催場所 帝国ホテル
東京都千代田区内幸町一〇一〇一
電話 〇三・五〇四・一一一
尚当日午前九時より評議員会
午後五時より懇親会を行います。
帝国ホテル宿泊ご希望の方は申込みを受けますので三月末日まで本部にご連絡下さい。

治療
活動性の先天性Tp症と判明したらすぐ治療を開始すべきである。たとえ可成りの症状が進行していても、その後Tp増殖を抑制、細胞組織の破壊をくいとめよう。
pyrimethamine (Daraprim)とSulfadiazine が先天的Tp症治療に特異的効果がある。両者の併用は単独療法の約八倍の効果がある。今日のところ、これらによる治療はTpの繁殖型にのみ有効でcystとなったneozoitには無効である。
Wilhelmによるγ-pyrimethamine

1 mg/kg 体重一日(小児には静注用あり)か、sulfadiazine 100 mg/kg体重一日を四回にわけて投与。前者は葉酸拮抗剤で骨髄障害をおこし易いので週二回位血球数、血小板数を検査する必要がある。同時に葉酸投与も行なわれる。またsulfadiazine投与中は尿路結石の生成に注意。通常六週間投与を行なう。必要な場合三カ月間治療も行なわれる。
spirornycin (Rovamycin)が近頃、特に眼症状を有するものに使用されるが、効果は一定でないとの報告もある。これは副腎皮質ホルモンと併用したりもするが、その場合、寄生虫が更に広範囲に広がってしまう危険性もある。オーストリアのKunkaによるウィーン大学病院で一九六八年以降あつかった妊婦二七六三例のTp診断・治療成績を一つの具体例として記すと次のようである。
(1)四〇・六一%は免疫反応(一)、分娩前六週と分娩後のテストでも(一)。
(2)五〇・八一%は抗体価1:4と1:256で、これは不顕性感染を示し、この場合はテストを更に続ける必要はない。
(3)もし1:1024以上の抗体価が最初のテストで得られたら四週後に再び検査、もし価が低下したら、これも不顕性感染とみなす。
(4)1:1024以上の価が二回目のテストでも示されたら、安全性のための治療としてcombisulfonの二錠を一日三回三週間投与。この抗体価は大分前に感染があつたことを示すものである

が、この値でも先天性Tp症が存在した報告もあるので治療の対象とした。

(5)二・二一%にあたる六一人は1996、一四人(〇・五一%)は1998以上の抗体価を示した。四人(〇・一五%)は(一)からこの高い価に変わったものである。

この七五人中四二人は combisulfan 治療を行ない、三三人は未治療のままであった。治療した人の子供の抗体価は(一)か低値であったが、未治療の母親の子供で持続して観察しえた一人も抗体価には異常がなかった。母体の感染が確定でも五〇%は子宮内感染をおこさないと統計的報告が Demonstration によってなされている。しかし、先天性Tp症を出産前に確実に診断することは

第十四回国際女医学会の

演題募集について

来年、一九七四年、九月二十二日よりブラジルのリオで開催される第十四回国際女医学会の演題は、「人間の健康に影響を及ぼす遺伝及び環境の因子」でございます。日本ではカドミウム、水銀、スモッグ及び騒音等の公害、その他いろいろの問題がございます。どうかどしどし演題をお申し込み下さい。期限は昭和四十八年二月末日まで。演題に関する詳細は、後日ご通知いたします。

なお、提出する演題の全文をまとめ、立派なペーパーとして発表したいとの理事の意向でございます。どうか皆様、ご協力下さいませ。ご希望を申し上げます。

とは現在では不可能なので、このように母親を通じて治療し、また予防するわけである。

Tp感染の子防

妊娠初期には血球凝集反応を、後期には補体結合反応をこころみ、抗体価(一)の時は、Tp感染の危険性が大きいので生肉を摂らぬこと、飼いネコを外に出さぬようにするか、ネコを妊娠期間中は隔離すること。一方、新生児の血液検査を行なう。

V 質疑応答より

日本性教育協会(JASSE)主催

第一回性教育

夏期セミナーに参加して

理事 阿部 秀 世

昭和四十七年八月三日、四日の両日京都市国立京都国際会館において開催された第一回性教育夏期セミナーに日本女医学会代表として湯本アサ理事と参加することが出来た。

申込者一五〇〇名余あったので最初の定員四〇〇名を会場の都合その他で七五〇名まで増員したと報告された。全国から集った参加者の大部分は小学校、中学校、高等学校の職員で特に保健主事並びに養護教員が目立った。彼等には直面した重要問題として実

関性を抗体価の多少で論ずることは出来ない。即ち、抗体価が非常に高いから常に危険であるともいえない。検査した場所がちがうと同じ血清であっても異なった価が得られることがあるので今後に残された問題として各国で反応のスタンダードを作らねばならぬ。免疫反応を示す数種の抗体のうち血球凝集反応を与えるものは非常に非特異的であることに留意すべきである。また胎児によりつくられる IgM も Tp に全く特異的ではなく、時に先天的Tp症の例でも IgM(一)の場合もある。

における現況等詳細な発表がなされた。学校における性教育の理念は単に性科学上の知識を与えるにとどまらず理性と徳性の啓蒙をはかり人間尊重の精神の涵養に努めるべきで指導者は共通の理解を持ち指導態勢をととのえ性教育実践の現代化をはかるべきことが強調された。

又性教育の三要素として情報伝達、情報処理、情報制御があげられ学習の改善と個人別配慮を重視することが提唱された。

次に現代の性教育の問題点とこれからの性教育として、

一、性成熟の加速化傾向に対応して早期からの性教育(演者は一・五才から行うことを提唱)の重要性

二、情報化社会に対応した性教育即ち性開放の理解を積極的に行い性的情操教育は人間性を尊重することに重点をおき性道徳の高揚のみの教育に走らないこと。

三、結婚を終着点とする性教育は再検討すべきである。

右のように非常に飛躍した論議にはいささか賛成しかねる感も持たされマスコミにも大きな波紋をえがいた。それは世界的に性的開放風潮の激変と電光石火の情報網の中で性教育のちとちとをどのようにしたらよいかとまどっている親や教師の姿を反映している。

PORNOGRAPHYが公然と巾をきかせ、それにつれて最近SEXMECHANISMとして両性の結合や分娩過程まで公開され大人にショックを与え、とまどいを来したがSEXが

SEXUALITYとして人間形成として全人教育に取り上げられねばならないというのである。

プログラム

八月三日 性教育に関する講演(オリエンテーション)

性教育の世界的動向とセミナーの進め方
医博・評論家 村松 博雄

講 演
わが国における性教育のあり方
文博・横浜国立大学教授 間 宮 武

講 演
人間の性と性教育(キンゼイ研究セミナーに参加して)
大阪市立大学名誉教授 朝山 新一

講 演
教育機器を利用した性教育
和歌山市教育委員会指導主事 藤 本 巖

八月四日 分科会
第一部会 幼少年期の性教育(幼稚園、小学校)
園、小学校 葛 葉 陸

司会 高槻市榎田小学校教頭
講 師 横浜市教育研究所指導主事 渡 辺 信 一

第二部会 思春期の性教育(中学校)
司会 枚方市中宮中学校教頭 安 本 寂 峯

講 師 東京都荒川六中教頭 田能村 祐 麒

第三部会 青年期の性教育(高校・一般青年)

司会 兵庫県立教育研修所第一課 長 安井 庸之助
 講師 大阪府科学教育センター室 長 黒川 義和

講演 現代青少年の性意識

講師 総理府科学教育センター室 長 千石 保

パネルデスカッション 性教育の問題点をめぐって

司会 村松 博雄
 パネラー 朝山 新一
 黒川 義和
 間宮 武
 能美 光房

〔医博・文部省 体育局教科調査官〕

後記

二日間朝九時から午後五時過ぎまで昼食の時間を除いた七時間びっしりと講演や討議を聴きながらテープをとって記録をし大変緊張した時間を持ったがそれなりの収穫を得られたように考えられる。今後もこのような機会があれば広く会員に通知し参加されることを切望します。

又性教育についての書籍を会場で売っていたのでかなり大量に購入し本部の書棚においてあるのでぜひ会員の皆様に活用していただきたい。



きびしさと楽しさの中に

吉岡弥生賞を受賞して

東京女子医大 薬理学教室

助教 藤井 儔子

ネズミ博士とまでいわれた東京女子医大薬理学教室前教授小山良修先生は、ラット下垂体がヒトと異なって平坦な頭蓋底にのって、ほぼ両内耳口を結ぶ線上に位置することに目をつけられ、耳口から針で下垂体を吸引摘出する小山式下垂体摘出法を考え出されたのをはじめ、「成長発育とホルモン」の研究で第一線に立たれていた方でした。その下で在米中の四年間を除き十年余を過ぎた間に、私がやはり成長発育と関係深い男性ホルモンの作用機序の究明に手を染めたのは当然のことでした。

分子レベルでの仕事の発展がめざましい今日においても、複雑な機能の統合体である生物全体を念頭において、実験結果を考察する重要性を忘れず仕事を進める習慣が身についたのは小山先生の影響だと思えます。コンピューター人間になるなどは近年近くの先生がよく口にされた言葉でした。

一九六八年七月、メキシコ市で開かれた第三回国際内分泌学会への参加は、私の四年間のアメリカ生活で得た多くの仲間とも、しばらく別れる時でした。私のポストでありハーバード大学医学部生化学教室の教授の一人である

Dr. Villee と食事を共にしながら過去や将来を話合った時、自然に話題が時の流れと物の評価という点に移りました。

私の仕事の一つである「哺乳動物の細胞からとり出したRNAが、同種属ではあるが他の動物の細胞内で、そのRNAがもつ遺伝情報にもとずいて蛋白質合成をする可能性」を示唆する実験結果を一九六六年にミラノで開かれた国際ステロイド学会ではじめて発表した時、そしてその後しばらくは、いろいろの会で、いつも多くの質問をなげかけられたのですが、メキシコの学会でつづきを発表するこの頃には、他の人々によっても似た報告がなされるようになっていきました。

彼がつくづくいうには、人が三回試みてあきらめるところ、四回、五回あたるいはそれ以上ねばつたらよいかどうかを判断する力と意志の力が仕事の発展に大きく影響するのだと。

彼の名前を有名にしたのが一九五一年にはじまった女性ホルモンの作用機序の一つである transhydrogens の活性増加機構についての発表でした。これに関する酵素と女性ホルモンの相互作用のあり方についてはシカゴの

Talalay 一派と長年論争がつづき、一時はシカゴ派が優位でしたが、私の在米中、同じハーバード大の Engel によって、Villee 説が確定されたのでした。

男性ホルモンが正常にある成熟ラットの精のう腺から抽出したRNAのみが、去勢ラットの萎縮した精のう内に注入された時、その重量を増加せしめるという一連の仕事は、その後一九六九年、バーゼルで開かれた国際薬理学会が、今後各分野の仕事に新しい方法を、新しい方向づけを与えうるテーマを集めて討議する部門をもうけた時、それへの招待演者となる栄を与えてくれました。

ヒトにおいても遺伝子の制御が出来る時代がやってくるのでは、とまでいわれる今日、一方では、ふくれあがる人口に世界の先進国の学者の目が集まっている今日、私の性ホルモンに関する研究は、よりよい人口増加抑制方法の開拓にまで夢をひろげます。

ゆっくりと、堂々と歩かれる弥生先生の晩年のお姿を、しかも、数える程しか目に入れる機会がなかった私ですが、吉岡弥生という名を耳にしただけで人間の大きさにふれる思いがいたします。

多くの先輩の先生方のお蔭で、はからずも日本女医学会吉岡弥生賞をいただきましたことを、あらためて感謝しつつ、また多くの、日本の内外の友人にも感謝しつつ一文をつづりました。

(一九七二・一一・二六)

宮城支部総会及び関支部長開業五十周年記念 祝賀パーティー

安倍 マサ

六月二十五日(日)幸いにも梅雨の晴間に恵まれて、正午第十五回日本女医学会宮城県支部総会を仙台ホテルの一室で開催する。

- 議 題
- 一、熱海総会の報告(出席者中村マサ先生)
 - 一、定款改正の説明(長池博子先生)
 - 一、会費値上げの件
 - 一、支部長選出の件
- 其 他

長池先生の司会の許にスムーズに運び約一時間で閉会する。午後一時半より待望の関支部長の開業五十周年記念祝賀パーティーがカトラの間で開かれた。

兼ねてより関先生の「出来るだけ内輪に」と云うご意志に沿うて準備は進められた。それにも拘らず蓋をあけて見ると仙台医師会副会長長玉手先生をご来賓として迎え実に出席者四十一名の多数に上り関先生のご人徳をしのばせた。

長池先生の名司会のもとに先づ開会の辞(安倍)次に玉手先生からご祝辞を頂き、関先生のご挨拶とつづく。やがて会員全員から真心こめて記念の茶器、カトラの花束、素晴らしい松の盆

裁が次々と贈られる。
 小野敬先生の首頭で乾杯。そして祝宴に入る。
 先づ定評のある小野 敬先生、田中えつえ先生の謡曲が始まる。朗々たるお声が会場を圧し、次第々々にお祝の雰囲気が高まる。



於 仙台 ホテル

日本舞踊の名取でおられる斎藤千代子先生の艶やかなお姿が舞台に現れる。気品に充ちた美しい舞姿にみとれている内に宴も酣。
 自己紹介を兼ねてお祝の言葉が次々と述べられ、先生の五十年の長い年月の喜びも悲しみもそして苦しみも美しい栄光に包まれた。
 先生もさだめし感無量の一時であった。

たことと思う。
 更に更に先生のご健康と実り豊かな日々を祈念し乍ら長池先生の閉会の辞で会を閉じた。 以上

本部便り

第十三回国際女医会に参加された方で左記の品物がまちがって送られてきましたのでお心あたりの方は本部までご連絡下さい。

○茶色の地味な訪問着および絹絆、足袋

○水色と白色レースの洋服

会誌五十二号誤りを訂正し、おわびします。

八頁十行目「ジブシー」の物悲しさに：

……を

「物ほしさに」に訂正

十二頁第三段十四行

九九十フランは六〇九九〇フラン

第三段二十四行

「本部より二十ドル」は

「本部より二〇〇ドル、参加者より三〇〇ドル計五〇〇ドル」に訂正

理事会議事録

日時 昭和四十七年九月一六日(土)

午後二時半～三時半

場所 東京女子医大中央校舎第一会議室

出席者(敬称略)

三神、小俣、山崎、大原、小野、久保田、白橋、中西、丸

山、守安、荒川、石田、稲葉、上田、佐野、鈴木、松岡、真鍋、山本、佐藤(イ)、添田、八木

欠席者(敬称略)

川那部、中川、森、柳瀬、阿部、綾仁、栗原、佐藤(千)、戸田、中村、長池、橋本、福永、森川、山口、湯本

庶務報告(小俣副会長)

○会員物故者

宮本 貞子(兵庫) 四七、六

柴田 きみ(渋谷) 四七、七、二

八

渡辺 千代(板橋) 四七、八、二

三癌

鈴木キクエ(山口) 四六、一一

山下亀美子(香川) 四六、一二、一〇 急性心不全

静岡県仁瓶支部長御令息痛で死亡されたため、九月十日弔電をおくる。

○風水害見解電報……秋田、愛知、岐阜、岡山、高知、佐賀、島根、福岡、熊本

岡山の佐藤あい子氏(床上五〇〇〇〇〇)から見舞いに対する礼状あり。

○夏期ゼミナー湯本、阿部両理事出席(八、三、四)

○国際女医会々議の八ミリアルバム製作ジャパンフィルムセンターと契約を結ぶ(八、二二)

○国際女医会結婚式、壮行会を行う。於ホテルオータニ

二八日出発

A コース 午前一〇時三〇分～

九月一五日帰着

B コース 午後一〇時三〇分～

九月一八日帰着予定

○稲葉理事から火事見舞いに対するお礼として金一封あり

○四宮事務員 十二月出産の予定、前後二ヶ月の休暇をとる。その間のアルバイトについては、多忙の時のみ雇うことに決定

会計報告

中西理事 七月及八月会計

七月機関紙一八七、九五

八円は、印刷及送料を含む。

議事

会 長……今回参加者九九名、A

コース五三名は九月一五日帰国、トラブルのなかったこと、落伍者のなかったことは、非常によかった。会議も大変よかった。

国際女医会々長候補は小野理事一人のため一九七六年の会長に決定、理事の投票によりインド、イשראל、イラン及び日本の中から日本が四〇票のため、開催地は日本と決定

佐野理事……国際女医会参加国は三五カ国であったがメキシ

コ、ユーゴが入会し、三七ヶ国となる。

本部に日本女医会として五〇〇ドル寄付した。

会長補足……(この寄付金は、本部会計より二〇〇ドル、国際女医会経費より三〇〇ドル支出)

小野理事……次期会長(一九七二～一九七四)の国際女医会々長は、モラニー氏と決定。会費はイギリスに入金してもスイスに送金するため今後スイスフランに換算して(約四〇〇円余)

○一九七四年の開催地はブラジル

期日 九月二日～二八日

演題 "人体に及ぼす遺伝および環境因子"……公害のこと。

来年七月までに演題及び人員を送ること。

○一九七六年の演題 "ウイルス性疾患感染症及び後遺症開催予定……"

十月頃

その他

JIMSAについて

大きなタシになるというよりは協力したという名目で三万円に決定したい。

質問

守安、大原両理事より質問あり。

JIMSAにだす金額三万円は毎年のことか、また毎年のことであれば奨学金項目がよいか、奨学金は予算だけで現在まで実施されて

いないなど考慮して、来年度の予算編成の時、一考を要すると思ふ。

このことについては少々議論もあったが、総会で決定したことで、JIMS A 援助は毎年のことである。奨学金の項目、奨学金のあり方予算の増減は社団法人日本女医学会結成の折、厚生省の意考として女医学会ばかりの援助でなく、社会への福祉などを強張されているから、そのこともよく考えて来年度予算編成すること。

質問 二

佐野理事
一九七六年をメドに旅行の残金その他経費(事務手数料など)を国際女医学会基金としたい。

会長

例えば一人五〇〇〇円余分ができたとして一〇〇名で五〇万円になる。これを日本女医学会内国際女医学会基金として積立てていけばいかか、早々に発足させたい。

同
理事会としては、出席者全員賛成
松岡 宏子

理事会議事録

日時 昭和四十七年十一月二十五日(土)午後三時~五時
場所 東京女子医大中央校舎一階会議室
出席(敬称略) 三神、小俣、川那部、山崎、大原、小野、久保田、白橋、中川、中西、丸山、守安、阿部、

稲葉、佐藤(干)、佐野、鈴木、戸田、中村、長池、福永、松岡、真鍋、森川、山口、山本、佐藤(イ)、添田
欠席(敬称略) 森、柳瀬、綾仁、荒川、石田、上田、栗原、橋本、湯本
会長挨拶
○昭和四十八年度総会開催について
○一九七六年国際女医学会の企画について

庶務報告

小俣副会長
会員物故者 佐々木敏子(墨田区) 柴田周子(兵庫県) 蒲生ユキ子(香川県) 森川みどり(令嬢死亡弔電をうつ)

水害見舞

愛知県支部崎川つや水害見舞金をおくる
会員受賞者 中村キヌ 神奈川文化賞、祝電をうつ。香川 綾 勲二等瑞宝章(香川栄養大学創立者) 祝電をうつ

寄贈本

片麻痺の評価と治療―ベルタ・ポバーズ著(紀伊克昌、中村西子、田村美枝子共訳)、自然生命、人間―額田 晋、神奈川県便り、日本万国博覧協会一年のあゆみ、ニッポン女傑伝、秋吉 茂著

寄付金

三千元(オペラ観劇料キヤンセル) 添田百枝より国際女医学会々議フランドへ
埼玉県支部会 小野、藤井出席

議事

一、四十八年度総会の件
月日―昭和四十八年五月十三日(日) 会場―帝国ホテルスカイルーム 評議員会、昭和四十八年五月十二日

午後五時~七時

○総会は一日で終了するか否か?

選挙、昼食、管理委員会など庶務で一月理事会まで案を出すこと。

○会費 総会費一千元、懇親会四千五百円

○宿泊したい方は帝国ホテルツインで一人三千八百円

二、国際女医学会について

小野理事説明
国際会議は従来は招致国が全面的に面倒をみてきたし、議題も招致国が選んでいたもので、大國でなければできないので、今後小國でも開催できるように経済的負担のない方法を与えたい。早く組織委員会を結成して準備にとりかかりたい。

その他、吉岡弥生賞候補者推薦のメ

切は十二月二十日
会誌原稿のメ切は十二月二十日
一月理事会は新年会を兼ねて一月二十七日帝國ホテルで開催。

長池 博子

余白によせる

久保田 くら

本紙上に公示されておりますとおり、今年、日本女医学会においては、役員選挙の年であります。云々なれば、総選挙がおこなわれるわけでございます。役員は或意味では平常、会員諸氏に替って会務に当る方々であります。ただ、会員からの声やご意見があった場合に、その取り上げよう、運用のしように依つてはそれが大層有意義な事であっても、ともしれば光が当たら

れずに埋没されるか又は本意にいきさかもそわぬ恐さえもあるかと考えられます。したがって、役員なるものは、勢に動じないで中立的な意見を(如何に苦勞が伴おうとも)保持し且つ実現することができ得る忍耐強い方をお選びいただく事が必定でございます。

ご婦人は公明選挙をするとの世論に依つてもいだけたいたいのでございます。この頃の新聞紙上に書かれてある違反記事の中に、女性云々は多くない。むしろ、正しい選挙をしようではないかと、勇気ある運動を盛り上げ、人に感激を与えていることを存じとおもわれます。

会員諸氏におかれましては、ご多忙でもございませうが、そろそろ選挙に對してのご準備をされ、総会は東京でおこなわれますので当日はお一人でも多くご来会の上、清き一票を投じられ、日本女医学会のこの上の発展の礎をきづく方々を役員としてお選び下さるよう切にお願いいたします。

日本女医学会は、日本におこなわれた万博に際し、長期間にもかかわらず、一つの仕事、しかも「奉仕」という仕事を成し上げた事は、大きな仕事に取り組み得る団体である事の確たる証明にもなり、自信をも得たのでございます。心強い限りでございます。

省みますと、この奉仕を実行する事を決定し、準備する段階においてなかなかの難事もあったように覚えております。あわやこの流れに流されるかの危険すら感じられたのは私のみであったのでしようか。然し、さすがに選ばれた役員の方々の良識は本當の幹を本當の幹として、小枝をさっぱり切り落とし、幹にたわわの実を成らす事が出来

得たことは、さすがでございます。近年、国際女医学会を日本に招致する事が決定されました。これは参加するのでなく主催するのでありまして、組織をしっかりとつくりなければ、しっかりと運営は、不可能であります。よき運営の為の組織をつくるにはやはり適材適処を充分に考慮に入れ、その各人が集まって和音を奏でてこそよき解決をみる事が出来ようというものでしようか。

「大きな会」には、大将がいて、或時は、大将の断独も必要でありましよう。そしてその断独は誰でもが納得し得る断独であつてほしいものです。なお多くの人に納得を与えるには根本的に利己をすてられる人間からほのぼのと出てくる断独でなければならぬかと思うのでございます。

組織をつくりまします時も、会議は沉々おこし、けつして我意をとおし得ないほどの多くの耳と心とに訴える形を尊重し、心に弾性をもつて望み、よき会議をおこなう事が出来まますよう最善の努力をいたそうではありませぬか。

昭和四十八年一月二十日印刷
昭和四十八年一月二十五日発行

編集人 久保田 くら
発行人 日本女医学会
発行所 東京都新宿区市ヶ谷河田町19
社団法人 日本女医学会
TEL(通)〇九六八

印刷所 東京都港区白金五十四一
興栄美術印刷株式会社

題字 吉岡 弥生